

ふくろう通信 一第2号一



2016年1月発行

編集長	松本 佳世子
副編集長	稲田 麻里 兵頭 舞美
イラスト	王 場
アドバイザー	谷野 佳奈子

わが 2680 地区 RYLA 学友会は、兄弟関係である 2670 地区 RYLA 学友会と共に日本でも唯一の RYLA 学友会組織です。世界的に見ても他に例が無いようです。言い換えると、RYLA 学友会としてのパイオニア的な存在です。



その使命感を持つべきことはさておき、根本的には学友会をライラリアンの集う楽しき場、みんなが活躍できる場、そしてロータリアンとの親睦の場でありたいと思っています。

この「ふくろう通信」がその一助となることを願っています。

RYLA 学友会会長 倉本 勉

2015-2016 年度 RYLA 学友会会長方針

ロータリー精神に学ぶ

◇◇純ちゃんの部屋◇◇

「八甲田山の峠の茶屋」 深川 純一

昔、仙台の笹気(ささき)幸助ガバナーが公式訪問のとき、青森北東クラブの案内により裏八甲田の峠の茶屋へ案内された時の話であります。林檎畑を通過して山毛櫨(ぶな)の原生林のトンネルを越えて田代高原に出たのでありますが、途中、雷雨に遭って峠の茶屋で一休みしました。

その茶屋の前に一人の老婆の像があります。この家の主であり、有名な八甲田雪中行軍で亡くなった兵士の墓の掃除を何十年も続けてきた奇特なお婆さんだそうであります。その善行によって、国立公園地帯に1軒だけ茶屋を建てる権利を与えられたと謂うのであります。何の報酬も求めず、心から社会に奉仕してきた人の姿は、真に美しいものであります。ここに、人の心を動かさずにはおかない超我の奉仕“Service Not self”の実践者の像を見た思いがしたそうであります。

因みに、笹気幸助ガバナーは、1971~72 年度ガバナーであります。



今井鎮雄先生からライラリアンへのメッセージ

リーダーは来るべき新しい社会を想定し、新しい社会に役立つ人を育てることを考えて欲しいとロータリーは希望し私自身の願いでもあります。・・・貴方がたの扱う青少年のパーソナリティを考える時、何が大切な問題であるかをよく考え、今迄の伝統的な共同体社会の中にあるものから、自分の意識を確立して生きてゆく事が出来るように、自分達の意識の中にこの問題を解決する意識と見通しを持って、グループの扱いをしているかどうかが当然我々に問いかけて来ます。・・・愛という事は人間・人と人との誠実の根拠であります。愛を受けることと同時に、それにこたえようとする人間を作ること、これは健康なグループ経験から生まれます。言い換えれば、健康な Personality は健康なグループ体験から作られます。リーダーとして、常に相手の言葉の後ろにある事を聞きとること、その人の側にたって考えるというリーダーの大切な役割を忘れないで欲しいと思います。

～第2回 RYLA セミナー報告書
「LET SERVICE LIGHT THE WAY」
(1980年)より抜粋～



♪ R Y L A 楽 団

RYLA 楽団が発足しました♪ 出演依頼受付中！！

例会や行事など出張演奏します！
「rylamusicband@gmail.com」
へお問い合わせください。



楽団員募集中★

一緒に音楽を楽しみませんか？
お気軽にお問い合わせください♪
待ってま～す！



◆第37回RYLAセミナーが開催されました！

2015年5月21日(木)～24日(日)余島野外活動センターにて、第37回RYLAセミナーが開催されました。RYLAセミナーは、恵まれた自然の中で、テーマに基づく講義、キャビンタイム、思索の時間、バスセッション、フォーラムなどを通じて、学び語り合い、考えるセミナーです。今回参加した受講生、受講生の相談役となったカウンセラーから、参加して感じたことなどをお話いただきました！



ロータリアンカウンセラーには、ロータリーに関する事項について、正確に受講生に伝える義務があります。あとは、自然体で受講生に接するしかないと思っていました。セミナーについては、反省することばかりで、私が受講生1人1人をきちんと「観る」ことができたか、受講生の特性に応えることができたか疑問です。

カウンセラーには自分を磨く努力が必要だと思いました。セミナーでは、受講生の笑福亭智六さんの落語をみんなで聴いたり、みんなで似顔絵を書いたり、楽しい思い出ばかりでした。

楽しい思い出を受講生と共有できたことは、私にとって大切な経験ですし、大切なものが生まれたことに私は感謝しています。



第37回カウンセラー 田中 賢一



RYLAセミナーでは、大らかな自然の下、心に響く講義を受け、思考する時間を多く持てました。チームの仲間とは時間とともに打ち解けていき、更に、バスセッションの夜に皆に対する印象や理解に変化や深化がありました。

テーマへの切り口や考察を聞く中で、それぞれにバックグラウンドがあり、そこで学び、考え、悩み、生きていることがわかったからです。

同じ地域で暮らしていても多種多様な人がいる。でも、意見を交わし疑問を投げかけ、お互いに心からの言葉を述べ合うことで、チーム全員が同じ方向を見るようになり、まとまっていく。その様な躍動感を味わうことができました。余島での出会いに感謝します。



第37回修了生 石渡 渚

私はこのRYLAセミナーを受講し、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。

余島という自然の中、誰とも出会わず・話さず、自分を見つめ直すという「思索の時間」。普段仕事などでバタバタと過ごしている自分に、もっと気持ちに余裕をもって過ごすべきでは？と考え直す良いきっかけとなりました。

3泊4日過ごした班のみんなとの、寝る間も惜しんで語り合った「キャビンタイム」。年齢も職業も違う人が集まって、お互いの事や自分の考え方など様々なことを語り合い、自分にはない考え方や価値観があることを知る事が出来ました。そして、なにより班の仲間との絆・縁を得られた事が、このセミナーを受けて一番の成果ではないかと感じました。



第37回修了生 宇崎 聡太

◆RYLA学友会 総会・学友会のつどい開催報告◆

開催日：2015年9月27日(日) 場所：姫路清交倶楽部総社店
国際ロータリー第2680地区 2015-2016年度「RYLA学友会 総会・学友会のつどい」が開催されました。毎年恒例の年1回の総会を兼ねた同窓会です。今回のグループディスカッションのテーマは「いのち」について。

- ◇「あなたの一番大切な『いのち』は？」
- ◇「なぜ私たちは『いのち』を与えられたのか？」
- ◇「その『いのち』はどのようにつかうのか？」

簡単なようでとても難しいテーマでした。その後の懇親会では余島で過ごした思い出を語ったりと、楽しいひとときを過ごしました。



学友会 今後のスケジュール

- ★2/7(日) 青少年交流会(明石市生涯学習センター)
- ★3/12(土) 地区大会青少年のつどい・バザー(ポートピアホテル)
- ★3/20(日)～21(日) 学友会セミナー(しあわせの村)
- ★5/19(木)～22(日) 第38回RYLAセミナー(余島)

学友会情報は
コチラ↓でも
チェック☆★



ホームページ

<http://rylagakuyu.blogspot.jp/>



RYLA2680

